

知って備える 防災メモ

第54回



遭難して家族を不幸にしないために

今年度も山菜採りに出掛けた方が遭難する事故が4件発生しています。

そのうち1件は、警察や消防、自衛隊などが懸命に捜索を実施しましたが、発見されておりません(6月20日(火)時点)。

遭難すると遭難者だけでなく、家族をはじめ多くの方が不幸になります。

「自分は遭難しないから大丈夫」とは、絶対に考えないでください。

今年度発生した遭難事故において、携帯電話を所持していたことで、早期発見につながる事例もありました。

これから山菜採りや山歩きで入山する方のために、再度、注意点をお知らせします。

●入山するときは

- ・気象情報を確認し、悪天候の場合はちゅうちょせずに中止する
- ・行き先と帰る時間を必ず家族に伝える

- ・単独での入山は絶対にしない
- ・白や黄色などの目立つ色の服を着用する

- ・通信手段となる携帯電話、非常食や防寒着を必ず携帯する
- ・崖や急斜面などの危険な場所には近づかない

●熊の出没に注意

- ・熊よけの鈴やラジオを携帯し、音をたてる工夫をする。
- ・熊の出没情報に注意し、足跡やふんを見たときはすぐに引き返す

●遭難した場合

- ・落ち着いて行動し、携帯電話や笛などを用いて自分の位置を知らせる
- ・むやみに歩き回することは体力の消耗となるので、捜索隊を待つ

●家族の方へ

警察や消防への通報が遅れると捜索が難航して救助できない場合があります。必ず行き先と帰宅時間を確認して、時間までに戻らない場合は、速やかに警察へ通報してください。

▼問い合わせ

総務グループ

(☎**01130**)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

幌別そばクラブ



私たちと一緒に本格的なそば打ちに取り組んでみませんか

『幌別そばクラブ』は、以前からそば打ちをしていた14人のメンバーが集まり、平成25年に結成しました。現在の会員は40代から80代までの男女22人。毎月第2土曜日・第4日曜日の9時から12時頃まで、老人憩の家『柏木の家』で活動しています。「おいしいそばを作って食べてもらいたいと思って活動しています」と話すのは、会長の多田彰宏さん。通常の活動のほか、町内会の敬老会など外部で年10回程度そばを振る舞っており、食べた方の「おいしい」や「おかわり」の言葉が会員の励みになっていくそうです。

20年ほど自己流でそば打ちをしていたと言う菊池邦夫さん「そば打ちは、何度も行っていく中で、目に見えて上達し、よりおいしいそばを作れるようになり、自分の成長を感じられるのが魅力です」と話す多田さんは、「そば打ちの道具をお貸しできますので、経験のない方でも一緒にそば打ちを楽しみましょう」と呼び掛けます。

会員同士の仲が良く、第4日曜日には、それぞれが打ったそばを皆で食べて感想を言い合うなど、和気あいあいとした活動を行う『幌別そばクラブ』。活動に関する問い合わせは、多田さん(☎**055898**)まで。



▲おいしいそばを目指し力をこめる会員